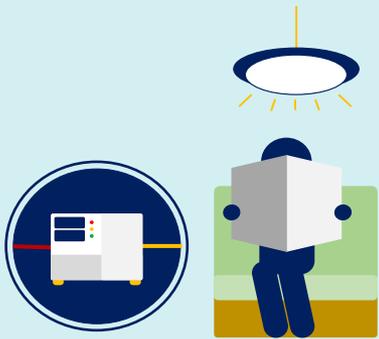


コミュニティ発電 ザ・松之山温泉



バイナリー発電

温泉の熱水や蒸気を使って、発電が行えます。作った電気は、照明などの電気設備に使用できます。



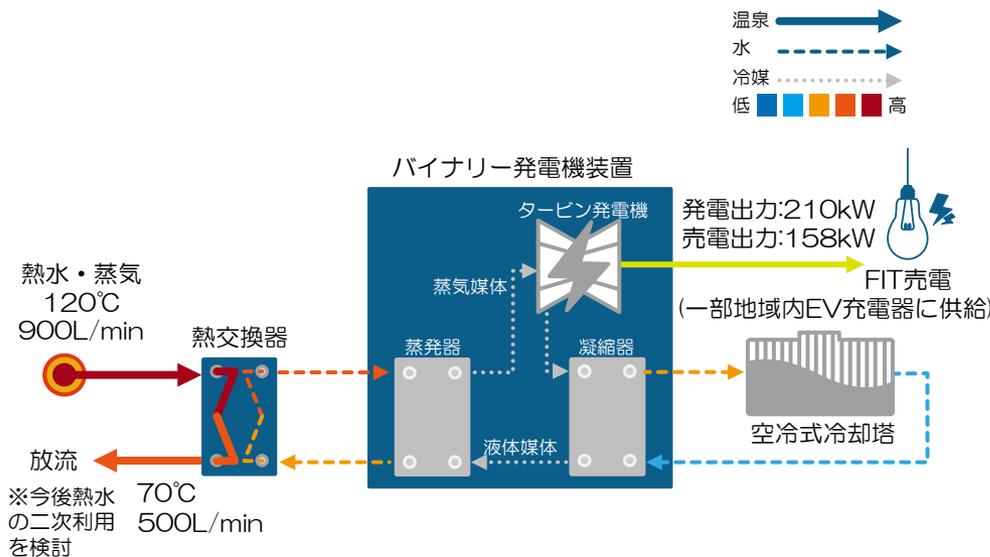
概要

十日町市所有の源泉から湧出する約120℃の蒸気及び熱水を利用しバイナリー発電を行っている。年間約124万kWh（一般家庭280世帯相当）発電しており、東北電力やみんな電力に売電している。十日町市の第二次総合計画の目標（市内の電力消費量の30%を再エネで創出）達成のための取組の一つとして、事業化が検討されてきた。当初、源泉枯渇への懸念から地元住民等関係者の多数が事業に反対していたが、源泉の監視・状態把握方法や問題発生時の対処等について話し合い、関係者の不安を一つずつ解消したこと、余剰温泉資源のみの利用に制限したことで地域合意に至った。

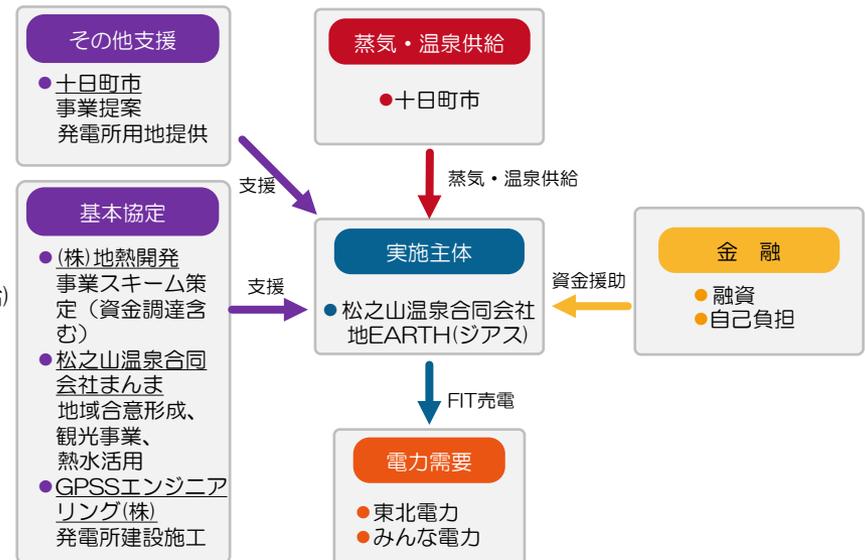
事業者名	松之山温泉合同会社 地EARTH (ジアス)
所在地	新潟県十日町市
泉質	ナトリウム・カルシウム塩化物泉
温泉温度	約120℃
熱利用温度	約120℃
事業開始	2020年
総事業費	-



主な温泉熱利用方法のシステム



実施体制



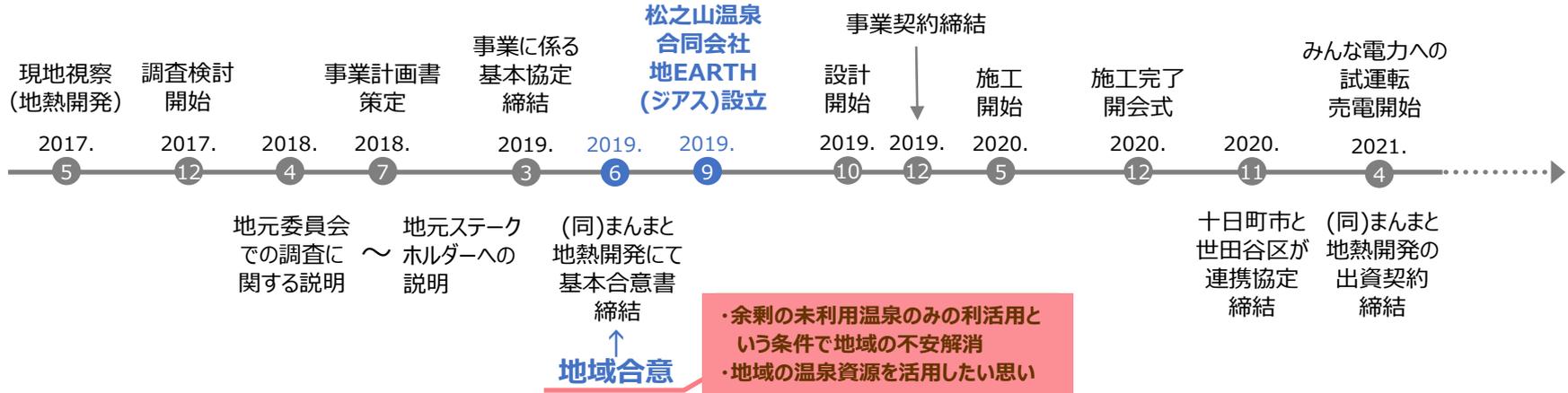
コミュニティ発電 ザ・松之山温泉



事業検討の流れ

事業実施関連

合意形成関連



今後のビジョン

- ・事業期間：2019年12月24日から20年間（2022年から15年間FIT売電予定）
- ・十日町市が協定を結ぶ東京都世田谷区等にみんな電力株式会社を通じて発電電力を供給予定
- ・売電利益は、温泉余熱の有効活用等、地域活性化の財源の一部として活用予定
- ・松之山温泉の管理に向けた利用状況調査、モニタリング継続
- ・再エネ発電所ツアー等の実施
- ・地域の観光資源を巡る際の足としてEVの導入・利用促進
- ・Eバイク導入及び発電電力のEV充電利用（みんな電力を介して買電）、蓄電システムの利用

松之山温泉の地域活性化

「電力でのつながり」をもとに地域外との新たな交流を構築する

主な効果



- ・地域内外からの見学・視察
- ・地域的取組への波及効果
- ・地域のつながり強化
- ・地域の魅力増

【その他の効果】

- ・固定価格買取制度(FIT)による売電収益
- ・日産自動車、日産レンタカー、松之山温泉合同会社まんまの合同事業として、EVのカーシェアリングを導入。EVの充電電力を本発電所の発電電力で賄い、自動車の利用が不可欠な地域の観光事業へと繋げた
- ・みんな電力主催のオンライン発電所ツアー開催によるPR
- ・温泉総選挙2020環境大臣賞受賞